

朗読サロン 虹の街 第九回

野口雨情 生誕百三十年記念

童謡のふるさと

野口雨情と仙台



野口雨情 (本名：英吉)
のぐちうらじょう

一八八二年(明治十五年)五月二十九日
一九四五年(昭和二十年)一月二十七日、
詩人、童謡・民謡作詞家。多くの名作を
残し、北原白秋、西條八十とともに、童謡
界の三大詩人と謳われた。



横浜山下公園「赤い靴をはいた女の子の像」

雨情のお孫さんが来仙。
野口不二子さん

(野口雨情記念館館長)



日時：2013年10月12日(土) 13:30開演(13時開場)

入場料：前売り1,000円(当日1,300円) 会場：エルパーク ギャラリーホール

【前売り】一般 1,000円(当日券あり) 満席の場合は入場をお断りすることがございます。事前のチケット購入をおすすめします。

【チケット申込み】氏名、住所、連絡先、希望枚数を明記の上、FAX かメールでお申し込みください。チケット郵送時にお振込みのご案内を同封いたします。お振込み手数料は各自でご負担下さい。ご購入後のチケットのキャンセル、返金は致しません。<FAX> 022-707-5244 <メール> roudokusalon@yahoo.co.jp

【お問い合わせ】090-7663-4102(事務局・小野)

主催：朗読サロン虹の街

後援：河北新報社(予定)・仙台市教育委員会

助成：公益財団法人仙台市市民文化事業団、みやぎ生活協同組合、宮城県文化振興財団(予定)

協賛：ウジェスーパー、居酒屋炉ばた

<出演者と主なプログラム>

【お話】『郷愁と童心の詩人野口雨情』

野口 不二子 (雨情記念館館長)

【雨情の童謡】大宮 香織 (ソプラノ歌手)

星 信子 (ピアノ演奏)

【宮城の童謡】コーラス ユキムシホー

(おてんとさん合唱団)

代表：富田 博 指揮：能登アツコ

【詩朗読】『風のうたがきこえる』菊田郁朗著より

朗読：菊田郁朗・田中さわ子・渡辺仁子

【虹の街トーク】野口さんを囲んで (発起人)

野口 不二子 (のぐち ふじこ)

野口雨情の直孫として、北茨城市の生家を継いでいる。

エッセイや、全国各地での講演をとおして、雨情の人生観や詩の背景について語る雨情研究家でもある。

2008年11月国民文化祭茨城大会では、皇太子殿下ご臨席の開会式において開会宣言。会期中「うたの浜辺音楽祭」ほか、5会場において講演シンポジウム等で好評を博した。

近年は海外での活動も多く、ヨーロッパ各地、中国、中南米などで日本人の心の原点でもある童謡の普及に活動的に取り組んでいる。野口雨情記念館館長、茨城県県北生涯学習センター長。



ご案内

虹の街 代表 菊田 郁朗
副代表 石森 浩一
発起人 田中さわ子
発起人 渡辺 仁子

明治15年(1882)、野口雨情が北茨城市磯原町に生まれてから130年になります。雨情は北原白秋、西条八十と共に三大童謡詩人として明治・大正・昭和にわたって活躍し、その詩碑は全国各地に100基以上建立されています。その中でも特に有名なのは、横浜山下公園や東京麻布十番にある「赤い靴」の少女像です。

大正から昭和にかけて、鈴木三重吉や北原白秋の『赤い鳥』、野口雨情の『金の船』を中心に、たくさんの童謡が作られ童謡の黄金時代と呼ばれています。同じ頃仙台でもスズキヘキや天江富弥によって<宮城には宮城の唄を>を合い言葉に創刊された童謡専門誌「おてんとさん」誌上にたくさんの童謡が生まれました。

しかし、残念なことに時代の流れと共に、それらは次第に忘れられつつあります。そこで今回の朗読サロンは、雨情生誕130年を記念し、直孫で今年『郷愁と童心の詩人 野口雨情伝』を著した、野口不二子さんをお招きし、一昨年、大津波に遭遇した磯原の生家資料館や雨情の思い出、あるいは仙台との深い繋がり等々についてお話を伺いたいと思います。

また、それに合わせて、雨情の童謡や現在も仙台の童謡詩人の会「おてんとさん」合唱団《ユキムシホー》で歌い継がれている宮城の童謡を懐かしみながら、ひととき童心にかえりたいと考えています。

皆様方にはぜひご来場くださいますよう、ご案内申し上げます。

大宮 香織 (おおみや かおり)

常盤木学園高等学校音楽科、宮城学院女子大学音楽科をともに声楽専攻で卒業。同大学卒業演奏会出演。東京バプテスト神学校教会音楽マスターコース卒業。

これまでに、学校訪問演奏、病院、施設などへの慰問演奏、各地でのチャペルコンサート、震災後の支援コンサートや仮設住宅への慰問演奏など、様々な演奏活動を行っている。現在は演奏活動の他、ピアノと歌の指導を行っている。



星 信子 (ほし のぶこ)

宮城学院女子大学音楽科卒業、同大学研究科修了。

在学中より現在まで、様々な演奏会、コンサートに出演、またリサイタルも開催。ピアノ講師の他、歌の団体を中心に数々の伴奏をつとめる。ピアノを橋本直枝、山村清子、佐竹由味子の各氏に師事。「つるがやピアノ教室」および「歌いましょう会」指導。おてんとさんの会ピアニスト。



『おてんとさんの会』と《コーラス・ユキムシホー》おてんとさんの会の活動は、大正10年(1921)、スズキヘキ、天江富弥によって創刊された童謡誌『おてんとさん』に始まる。昭和45年、いくつかの有志団体が統一され『おてんとさんの会』となり、現在も仙台文学館で影絵や口演童謡を実践し、児童文学の継承に努めている。

合唱団《コーラス・ユキムシホー》はおてんとさん有志により、戦後NHKがまとめた「東北のうたの本」のヘキや天江富弥、富田博・吉田秀三・菅野邦夫の作品、田津新一作曲の童謡を歌い継いでいる。